

と とうごう 議会だより



今年も秋の大祭に、巫女舞いが披露されました。
(白鳥神社神楽殿)

(議会だよりでは、表紙写真を募集しています)

2012年 (平成24年) 第 105 号

11月1日 発行

	ページ
■ 9月定例会	2
■ 議案審議の結果一覧	4
■ 一般質問者12人	5
■ 12月の定例会日程	11

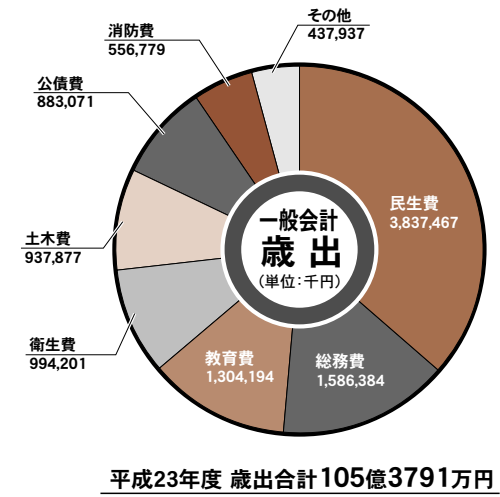
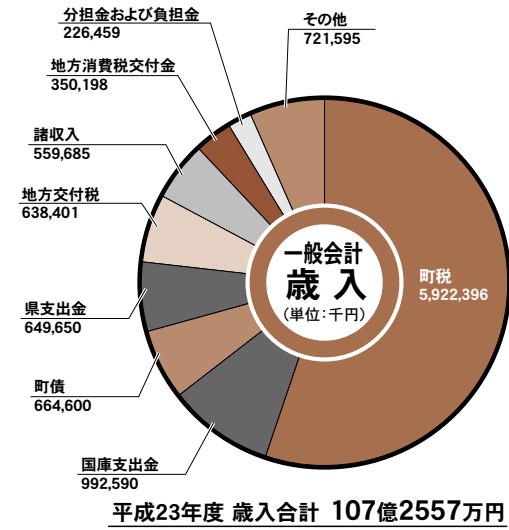
工事請負契約の締結 (旧庁舎耐震補強工事)



昭和44年に建てられた役場旧庁舎を耐震化し、被災時にも役場が町民を守る拠点として強化する必要性がありました。旧庁舎には電算室(コンピュータ管理室)の他、災害時用の資機材も常備しており、早期の耐震化が求められていました。

平成23年度 一般会計 特別会計 決算認定

9月
定例会



平成24年第3回定例会(9月定例会)が8月29日から9月21日までの24日間の日程で開催されました。9月定例会では、平成23年度決算認定案をはじめ条例改正案等22議案が提出されました。また議員提案による発議1件の他、意見書案1件、請願3件も提出されました。それら議案の審議結果は4ページの結果一覧表をご覧ください。

平成23年度一般会計
(賛成多数で認定)

賛成
地方財政を取り巻く環境が依然厳しい状況が続く中、支出を精査しながらも、本町住民の益々増加する行政需要に対し、限りある財源を効率的かつ効果的に執行され、また、本町の皆様から求められている施策を着実に、そして真摯な態度で実現された意義深い決算内容であると評価する。
(加藤宏明 議員)

反対

新たな施策が展開されたが、国保税の減税も介護保険保険料・利用料の軽減もされず厳しい住民生活を守る姿勢が乏しい。一部事務組合の年中行事化した研修など無駄も残され、町長の諮問機関に議員が入り報酬を受け取るなど二元代表制のあり方にも課題が残った。
(門原武志 議員)

反対

黒字なのに国保税を減税する姿勢が見られない。国保税は不況に苦しみ自営業者や失業者の負担能力を超えている。国保法第44条による医療機関での窓口負担の減免制度が作られたが周知されず実効性のない制度になっている。特定健診の無料化は評価できる。
(門原武志 議員)

平成23年度東郷町 後期高齢者医療特別会計
(賛成多数で認定)

反対
後期高齢者医療制度は、75歳以上のお年寄りを社会保険や家族の扶養から無理やり引き離すという国民皆保険制度を実施している国々では他に例のない制度で受けられる医療の内容も75歳以上の人を差別するもの。この廃止を求める立場から反対する。
(門原武志 議員)

平成23年度東郷町 介護保険特別会計
(賛成多数で認定)

反対
保険給付費で多額の使い残しがある。町が地域密着型介護サービスの需要計画を見込んで業者が進出せず、町民は必要なサービスが受けられない。
(門原武志 議員)

平成23年度東郷町 下水道特別会計
(賛成多数で認定)

反対
都市計画事業の目的税として都市計画税が徴収されているが、町内を区切っている都市計画事業は公共下水道事業しかないの、都市計画税は公共下水道事業だけのために集められていると考えられる。さらに公共下水道受益者負担金を取るのには税の二重取り。
(門原武志 議員)

反対

低い。低所得者向けの利用料の減免がなく、必要に応じた介護サービスを受けられないような状況も心配される。
(門原武志 議員)

請願

「教育無償化」の前進を求める請願書
(賛成少数で不採択)

賛成
教育を受ける権利は公立高校であれ私学であれ等しく保障すべきで、教育無償

反対

高等教育は、それを欲する者が選択肢の一つとして選ぶ性質のものである。経済的理由による選択肢の狭小には方策が求められるが、高校の実質的「義務教育化」となる「無償化」には違和感がある。「学べない」「学ばない」「学びたくない」を区別すべき。
(水川 淳 議員)

賛成

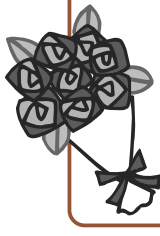
「ゆきこいつた教育」の前進をもとめる請願書
(賛成少数で不採択)
少人数学級は学習効果の向上が期待される。日本の教育機関への公的財政支出の対GDP比は3.3%でOECD諸国の最下位だがOECD平均並みの5%に引き上げれば7〜8兆円の教育予算を増やすことができ、

反対

低学年時の少人数学級は必要だが、一般社会で求められる集団活動と、リーダーシップや協調性を体感・体得させる意味から中学、ましてや高校まで30人学級は過保護と断ずる。増員前提ではなく、適正人数を適切な研修で育成し適切な配置が本来のあり方と考える。
(水川 淳 議員)

人事案件

人権擁護委員の近藤昇氏を再任しました。任期は平成27年12月31日まで。
監査委員の加藤清和氏を再任しました。任期は平成28年11月14日まで。
教育委員の谷直衛氏を再任しました。任期は平成28年9月30日まで。



議案審議の結果一覧

9月定例会

議案名

※議長 石川正は採決に加わらない ○…賛成 ×…反対 欠…欠席

議案名	審議結果	加藤宏明	川口一夫	若松孝行	水川淳	山田達郎	井俣憲治	加藤啓二	近藤鑛治	石川正	柘植三良	若園ひでこ	箕浦克巳	中川雅夫	門原武志	星野靖江	菱川和英	
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町議会の会議に関する規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町暴力団排除条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町防災会議条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町災害対策本部条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
所有権確認請求事件に関する和解	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町旭ヶ丘団地汚水処理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町一般会計補正予算（第4号）	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願「教育費無償化」の前進をもとめる請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

一般質問は、議員が行政のいろいろな問題や、施策に対する方針や考え方を、町長をはじめ各部署の責任者に質問する大切な機会です。9月議会では、12人の議員が質問に立ちました。

老朽化園舎の中部保育園から改築を進める

近藤 鑛治 議員



地域公共交通について

【問】名鉄バス東西線の利用状況は。

【生活部長】7月までの利用者1万774人、一日あたり78人、一便あたり6人である。当初見込みが一日当たり18人でありより一層利用促進を図る必要がある。

【問】町内の7保育園の園舎は、築30〜40年を過ぎ老朽化してきた。建て替えが必要ではないか。
【福祉部長】建て替えか、リニューアルが必要となっている。保育園に対するニーズも多様化し、その役割も高まっており「保育所整備計画」を策定中である。
【問】一番古い保育園は、中部保育園であるが、中部から始める予定か。
【福祉部長】この園は、障がい児母子通園施設（カンガルー教室）も併設されており、障がい児保育・療育事業の必要性も高まっており、できれば来年度からでも改築を進めて行きたい。

【問】当初名鉄への補助金を300万円としているが過不足は生じないか。
【生活部長】不足が予想されるが、この路線は巡回バスと同様に「東郷町地域公共交通総合連携計画」で策定した町の施策として行う事業で、町が必要とする路線を確保するための経費である。要望で実現した。
※その他に、「じゅんかい君の再編後の状況について」と「小規模工事等契約者希望登録制度の活用状況について」と「生涯学習課の勤務体制について」質問しました。



老朽化した中部保育園

9月議会で可決した意見書

○定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長して行くことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて真摯に取り組んでいるものの、いじめや不登校、非行問題行動を含めた、子どもたちをとりまく教育課題は依然として克服されていない。また、特別な支援を必要とする子どもや日本語教育の必要な子どもも多く、適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。本年度法改正を伴う制度化は見送られたものの、加配措置による小学校2学年の35人学級が実現した。子どもたちにこれまで以上にきめ細やかに対応するためには、今後、少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期実施が不可欠である。

また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子どもたちが全国どこに住んでも、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、そのために、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国庫負担率を2分の1へ還元することは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって貴職においては、平成25年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への還元をむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月21日

愛知県愛知郡東郷町議会

（提出先）

内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣



本町の小中学校における「不登校」と「いじめ」の状況は

若松 孝行 議員

【問】本町の小中学校の不登校児童生徒数は。

【教育長】平成23年度は小学校は10人、中学校は21人、計31人です。

【問】県内他校との比較。

【教育長】100人あたりの割合での比較は平成23年度、小学校は東郷町0.33、愛知県0.42で、やや良い。中学校は東郷町1.46、愛知県2.82で非常に良い。

【問】「ハートフル東郷」の役割、活動内容は。

【教育長】東郷町に在住する小中学校の児童生徒のうち、不登校となっている者に対し学校復帰に向けての支援を推進する適応指導教室である。

【問】本町の小中学校では「いじめ」は年間どのくらい起きているか。

【教育長】「いじめ」の認知件数は、小学校では平成21年度12件、平成22年度4件、平成23年度9件。中学校では平成21年度6件、平成22年度5件、平成23年度7件。

【問】「いじめ」について児童生徒への教育は。



「適応指導教室ハートフル東郷」

【教育長】「いじめ」は人間として絶対に許されないという意識を児童生徒に徹底させること。また学校教育全体を通して、お互いに思いやり、尊重をし、生命や人権を大切にすることなどを、特に道徳教育、心の教育を通して指導の充実を図ることを行なっている。

【問】学校、先生は事前にどんな対策をしているか。

【教育長】深い児童生徒理解に立ち、楽しく学び、いきいきとした学校生活を送れるようにしている。

【問】その結果は。

【教育長】深刻な状況なものはない。



不妊症治療費助成創設や不妊治療費助成拡大の早期実現を

箕浦 克巳 議員

【問】今年3月議会で提案した子育て支援策のその後の検討は。

【副町長】子育てに重要な支援策と考え、一人でも多く出産されるよう具体的に準備作業している。

【問】不妊症治療の助成制度ができれば愛知県では初めてとなる。実施時期は。

【町長】不妊治療、不妊症治療は一体と考えており、12月議会には具体案を示したい。

小中学校の災害時の安全対策は



備蓄したい災害用品

【教育部長】地震や火災等に備えて小学校の引取り下校、中学校の一斉下校など年数回行っている。

【問】保護者や地域の方などへの連絡は。

【教育部長】メールで一斉配信している。ほとんど登録していただいている。

【問】「釜石の奇跡」といわれる学校での防災教育を取り入れる考えは。

【教育長】授業では難しいが、自分で考える応用力

【問】今年3月議会で提案した子育て支援策のその後の検討は。

【副町長】子育てに重要な支援策と考え、一人でも多く出産されるよう具体的に準備作業している。

【問】不妊症治療の助成制度ができれば愛知県では初めてとなる。実施時期は。

【町長】不妊治療、不妊症治療は一体と考えており、12月議会には具体案を示したい。

【問】小中学校施設も災害避難所に指定されている。最低限の備蓄品は必要でないか。

【総務部長】早急に取り組む課題と考えている。

【問】町指定避難所のトイレの洋式化状況は。

【総務部長】全体では76カ所あり約40%が洋式。学校トイレは35%と低いため順次洋式化したい。

【問】避難所でトイレは欠かせない。段ボール製の折り畳みトイレが東北の避難所でも重宝されている。備蓄しては。

【総務部長】来年度の予算で備蓄したい。

学校施設に災害備蓄品を

全国学力テストのデータ公表を情報開示は信頼の原点

井俣 憲治 議員



【問】文科省が実施している全国学力テスト、町内の小中学校毎の成績データを開示して欲しい。

【教育長】学校別データは文科省の指導により開示しない。

【問】全国各地で「公表すべし」との判断がされている。教育長の見解と齟齬(そご)がある。いかがか。

【教育長】教育委員会でも話題となった。学校ごとのデータを、という事はトータルとしてプラスではないと判断した。また全国テスト対応の授業や、類似テストを実施する学校が出るなど弊害も出ていると聞く。

【問】データだけを一人歩きさせるのではなく、学力を向上させるための環境作りも大切では。

【教育長】データ公表をすれば残念ながら教育の世界にも「操作」が行われている現実もある。また、データが一番重要と取ってしまいう人が増えるのも危惧する。

【問】子ども達の学力だけでなく先生の指導力も確認できる。先生の指導力向上を図るためにも開示を。



町内の小学校

【教育長】方針を変える気はない。

【問】教育長は「学校ごとの学力差より学年ごとの学力差の方が大きい」と言われるが、その原因は先生の指導力にあるのか。

【教育長】圧倒的に子ども達の力に負うところが大きいと認識している。

【問】子ども達には教育を受ける権利があり、大人たちや行政には子ども達に最善の教育環境を整える責務があると考える。いかがか。

【教育長】原則論、その通りだと思つ。

※その他、「セントラル開発と東郷町の将来像について」と「入札問題について」質問しました。

平成24年8月11日の東郷町内における豪雨被害の件

加藤 啓二 議員



【問】今回の豪雨で、春木川周辺で浸水被害が多かった。セントラル開発により、一層春木川に雨量が増大し、被害が出るのではないかと不安視される意見がある。しっかりと治った治水計画が必要かと思うが。

【経済建設部長】造成中や、完了後も下流域に悪影響がないように、総合治水など洪水対策を講じるように関係機関と協議していく。

ウォーキングロードの通学路利用



春木川のウォーキングロード



豪雨被害

※その他、「折橋地区及び下鏡田地区の騒音・振動問題について」と「土地改良施設耐震対策事業 蟹池堤防の耐震検査の件」を質問しました。

一般質問

一般質問

平成24年8月11日 集中豪雨が本町を襲った

川口 一夫 議員



【問】各地区被害状況において、東海豪雨と比較して新たに被害が出た場所はどこか。

【総務部長】住宅の浸水は東海豪雨が床下・床上で39軒、今回が52軒と上回った。浸水被害の大きい地域は春木川沿いで、伊勢木（農協西側）と和合前田とタチヤの東だ。

【問】排水工事完成後の三ツ池信号付近がまた冠水した。安心と思われたが残念だ。この豪雨でも信号付近は東海豪雨より水位が20センチ下がった。工事は功を奏したとも言えるが冠水した。どう思うか。

【経済建設部長】現状、1000mmの管渠だが今回は幅1200mm、高さ2000mmの函渠を施工。想定降雨量50ミリに対し今回は72ミリで、短時間にこの交差点に集中したと思う。

【問】もっと水位が下がると思う点がある。トンネルを出た水は広い用水



用水路の堆積中州

路に流れるが、そこには目算10トン以上、砂利と雑草の堆積中州がある。それが水流を妨げた可能性があると思うが、撤去は。

【経済建設部長】三ツ池川の堆積物は認識済みで、今年度から撤去の予定だ。

【問】大被害が発生した。今後起こり得る豪雨を見据えた対策の考えは。

【経済建設部長】雨水浸透阻害行為許可・開発雨水浸透施設・保全調整池・ため池保全・洪水マップ作成などを推進する。

いつでもどこでも誰にでも起こりうる「いじめ」に当事者意識を

水川 淳 議員



【問】他自治体では「いじめ防止条例」制定の動きがある。町民全体で当事者意識を持つ意義での制度構築の考えは。

【町長】子どもの権利に関わる条例制定に向け研究途上にある。来年度以降に制定したいと考える。

【問】文部科学省通達にある「迅速かつ適切な対応」は本町では何を指すのか。

【教育長】いじめではないが過去の対処例として、教育委員会が手分けして行動し、学校と同様に教育委員会が状況把握し、状況変化に即応できる体制をとることができた例がある。その時に生じた課題を反省事項とし、後に生かすよう対策した。こうしたことを指すと考えている。

近隣自治体との広域行政連携の進展



日進・みよし・東郷の広域連携（ごみ処理・消防）

【問】広域連携は本町の将来への重要な鍵と考える。7月に1回目の会合があった尾三地区自治体間連携研究会」の発足経緯と現状は。

【町長】企業団管内の自治体との連携模索など、広域連携に関する曲折を経て、尾三地区による情報交換などの協議会を立ち上げ合意に至った。火葬場、公共バス、施設の共同利用、医療福祉連携など一自治体ではできない課題を積極的に取り上げたい。

【問】県や名古屋市の広域圏構想に対する本町のスタンスは。

【町長】今は具体的段階ではないが、興味をもって見守り、具体化したら実務レベルで検討していく。

自然エネルギーの利用と省エネでエネルギー自給率向上を目指す東郷町を

門原 武志 議員



【問】エネルギー政策についての町の見解は。

【企画部長】重要課題だと思いい、できることから始めていく。いこまい館、中部・北部資源回収ステーションでは太陽光発電をしている。今年からは住宅への太陽光発電システム設置の補助を始めた。

【問】公共施設の屋根を企業などが太陽光パネルを設置するために開放する自治体が広がっている。中小企業や市民出資のファンドなどに有利なビジネスとして注目されているが、行政としても仕事起こしや税収確保、環境教育など取り組む意義が大きい。町の考えは。

【企画部長】環境教育を通じて子どもたちへのエネルギーへの意識付けや、地元企業の取り組みで固定資産税収などが期待できる。一方、パネルの重さの建物の耐震性への影響など、調整が必要。先進事例を学び検討したい。



中部資源回収ステーションの太陽光発電所

緊急通報システム

【問】居間独居老人などにも設置対象を拡大しては。【福祉部長】研究している。

給食の安全

【問】給食の地産地消の現状は。

【教育部長】東郷町産の米を週に3回使っている。野菜も季節的に大量に確保できるものを使いたい。

【問】食材の産地の公表を。【教育部長】検討する。

【問】給食の放射能検査をする考えは。

【教育部長】検査機器は高額。必要かもしれないが、効果が上がるか疑問だ。

学校教育と子育て支援にサポートブックの活用を

星野 靖江 議員



【問】サポートブックは保護者が文書で障がいの特性を共有するために考案された。その活用の検討は。

【教育部長】発達障がい児童生徒には特別支援教育を実施。臨時職員を雇用しているが関係者と協議する。

【問】5歳児検診は。

【副町長】現在は中部保育園で実施。平成25年度以降全園で実施予定。

【問】就学時健診の実態は。

【教育部長】全員に案内し、受診率100%に努めている。

【問】スクールカウンセラーの増員計画は。

【教育部長】カウンセラーは県教委の派遣。平成23年度から2名増員。町は気軽に相談できるような心の相談員を全中学校に配置。今後は必要に応じて県教委に要請を図りたい。

【問】いじめ・不登校の早期発見や防止対策は。

【教育長】全校体制の共通理解に努め、地域の人の声を大切に連携し生活指導連絡会を開催。



「参考資料」愛知県版サポートブック

安心・安全なまちを

【問】エネルギー政策の転換と脱原発への考えは。

【町長】原発に頼らないエネルギー政策を考えることが必要と認識している。

【問】平和市長会議は。

【町長】町民の安全・安心を願い加盟を考えている。

【問】災害時廃棄物処理は。

【生活部長】尾三衛生組合で重要と認識し協議する。

難病対策の今後の計画は

【問】難病患者の支援策は。

【福祉部長】平成25年度障がい者福祉計画法改正に伴い、難病関係も見直しを図る。次世代に繋げたい。

一般質問

一般質問

低炭素まちづくりを目指す「東郷セントラル地区エコまちづくり計画策定委員会」

加藤 宏明 議員



【問】設立目的及び委員構成は。
 【経済建設部長】集約型都市構造を目指す本町の中心核としてふさわしい様々な環境施策の導入に向け、多様な観点から調査及び検討を行うため設置。委員は12名、大学教授、愛知県、本町職員、発起人会役員などで、アドバイザーとして国土交通省課長等が参加している。

【問】平成26年度には組合設立予定であり、赤池駅南東、通称「赤池ヒルズ区画整理」に約5年遅れのスタートとなる。赤池ヒルズには「イートヨーカ堂」が26年度オープン予定。本事業も話題性があり、すばらしい商業施設が参入されるよう、準備には万全を期している。町長のセントラル地区まちづくりについての考え方、方向性、思いは。
 【町長】当開発は本町の将来を担う事業であり、商業施設を誘致し、中心市



エコまちづくり計画策定委員会

街地を形成させ、本町の足らざる部分を補い、付加価値を付けていく。本町で全てが完結できるコンパクトシティや環境に配慮したスマートシティなど学問的に理論的にすぐれた街づくりを行うため、専門家など全ての皆様の意見を結集させ、質の高いものが本町で実現できないか、策定委員会に委ねている。理想と現実には差があると思うが、本事業が全国的に注目され、本町が将来にわたり自立し、発展して、尾張東部地区の中核となるように、最新の叡智を導入し実践していく。

一時保育の充実を目指して

若園ひでこ 議員



【問】一時保育を利用するには、役場での申請受付と、保育園での利用申し込みの2カ所立ち寄りになっているが、なぜか。
 【福祉部長】役場で、利用資格の子エックをおこなない、その後、保育園での面接と利用日の予約となる。

【問】定員はあるのか。
 【福祉部長】申請受付に定員はない。この9月3日の登録は27人だった。

【問】みなさんは利用希望日を予約できたのか。
 【福祉部長】概ねできていると理解している。先着順と言っていることもある。もう少し枠がひろい方が、このご意見もある。

【問】申請受付直後の利用申込みの状況について伺いたい。保護者の役場から保育園への到着時間には、信号待ち・道順などで差異が生じる。少しでも早く希望日の予約を取りたい、との思いで必死になる。交通事故が危惧され危険。これをどのように思うか。



西部保育園

【福祉部長】競争のように車を走らせるのは、交通安全上よくないと感じる。この3日の申請時には、登録後20分以内の保育園での受付とした。

【問】一時保育の拡大についてどのように考えるか。
 【福祉部長】緊急保育以外の理由による利用は3歳児未満の希望が多い。その対応に勤めるべきと思っている。現時点では部屋不足のため他の保育園での実施は困難と考えている。

【問】西部保育園内での利用枠の拡大は。
 【福祉部長】保育士の増員や部屋の数の問題があるので、増員が難しい。

コミュニティーセンター補助金について

山田 達郎 議員



【問】コミセン補助金について上限750万円から500万円に減額と説明が行われ、清水自治会から問い合わせが殺到した。誰が説明したのか。
 【総務部長】担当レベルにて決定前に説明し、町長は知らなかった。遺憾であった。

【問】確認したところ減額はしていないということだが間違いはないか。
 【総務部長】今回は減額しない。

【問】今後、新規に予定される三ツ池地区、セントラル開発における新規地区や、建て替えが予想される和合ヶ丘等だが、補助金額の考え方は。
 【総務部長】今後の補助金額については、社会状況などを見て、新築・改築・建て替え等、研究して補助額を早い段階で決定し、混乱しないようにしていきたい。



コミセン候補地

【問】近隣の補助金額については如何か。
 【総務部長】上限で豊明市が400万円、日進市100万円、長久手市300万円、みよし市1億9800万円と近隣と比べると、本町は高い方である。

【問】清水地区の建設予定は。
 【総務部長】現在、順調に進んでおり、平成25年に着工予定である。

議会のあれこれ

決算

9月議会では、平成23年度的一般会計と特別会計の「決算」が審議されました。予算として議会の可決を経て、すでに執行されてしまった収入と支出を、なぜ審議し、「認定」するのでしょうか。

地方自治法233条には、「普通地方公共団体の長は、(中略)決算を(中略)議会の認定に付さなければならない」と定められています。

執行されたいろいろな事業が、本場に適切な費用で執行されたか、期待された効果はあったか、などを、当局がまとめた事業報告資料や監査委員からの報告資料と照らしながらチェックします。それにより、可決された予算を、より慎重に執行する役割を果たすとともに、後年度への改善に役立てるといった意義もあります。



決算に関する各種資料

12月定例会の日程

- 11月30日 本会議(議案上程)
- 12月7日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議
(一般質問・議案質疑)
- 14日 総務経済常任委員会
- 17日 文教民生常任委員会
- 21日 本会議(討論・採決)

本会議は10時開会、委員会は9時開会です。ぜひ、傍聴にお越しください。



読者の広場

今回も、大変貴重なご意見をお寄せいただきました。

●議員の方の生のやりとりを聞くのが一番だと思いながら、議会の傍聴には行けず、議会だよりを読んで、今の議会の現状を把握している方は多くみえると思います。

議会だよりは今の議員の方が何を考え、町民のために何をしてくださっているのかを知る一つの手段。議会だよりを読んでではじめて知ることたくさんあります。今後もいろいろな世代の人の声を聞き、タテとヨコのつながりを大切にして議会が進むことを願います。

(30代女性)

●議会だより、いつも拝見しております。誌面上の都合もあるかと思いますが、要旨の記載に終始している感があり、「なぜ」そのような議案が^{そしよ}上^{じょう}に載ることになったのか、「なぜ」その議員は一般質問でその質問をするに至ったかという理由が少しでも解ると、より興味を持って読ませて頂けると感じました。議事録を読めば解るかもしれませんが、一般の町民は議事録を紐解く事までは私も含めて中々やらないと思いますので…

(30代男性)



みなさまのご意見大募集!!

大変重要なお提案・ご意見をいただきました。ありがとうございました。議会の果たすべく役割を十分に踏まえ、住民のためにある議会であるよう、一層努力してまいります。



引き続き、

- **議会に質問** (特に子どもからの質問大歓迎)
- **議会にもの申す!** (議会へのご意見・ご要望)
- **傍聴レポート** (議場のお気づきをお聞かせください)

など、ご意見・ご質問お寄せください。

宛先：議会だより編集特別委員会 〒470-0198 愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地 TEL0561-38-3111

編集後記

8月11日の集中豪雨では、町内各地で水による被害が発生しました。また、「子どもはじめ問題」が報道されたこととなり、9月議会の一般質問で多くの議員から本町の現状と対応策が確認されました。今年も残すところ2カ月となりましたが、議会だよりを通じて議会活動を町民の皆さんに、限られた紙面ではありますが読みやすい編集に、編集委員一同務めてまいります。

(近藤 鑛治)



議会だより編集委員

委員長
副委員長

水川 淳
近藤 鑛治
川口 一夫
井俣 憲治
柘植 三良
箕浦 克巳
門原 武志
菱川 和英